

富士通コンサートシリーズ

ハンブルク北ドイツ放送交響楽団



トーマス・ヘンゲルブロック (指揮)
Thomas Hengelbrock, Conductor



NDR

Sinfonieorchester Hamburg



©Peter Rigaud

アラベラ・美歩・シュタインバッハー
(ヴァイオリン)
Arabella Steinbacher, Violin

2015年
6/4 (木) 19:00
サントリーホール

Thursday, June 4, 2015 at 7 p.m.
Suntory Hall

S¥21,000 A¥17,000 B¥13,000
C¥10,000 D¥8,000 プラチナ¥26,000

メンデルスゾーン
Mendelssohn

ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op. 64

Violin Concerto in E minor op. 64

(ヴァイオリン: アラベラ・美歩・シュタインバッハー)

マーラー
Mahler

交響曲第1番 ニ長調「巨人」(1893年ハンブルク稿)

Symphony No. 1 in D major (Hamburg 1893 Version)



ドイツと日本
Zukunft gestalten
ともに未来へ

主催: KAJIMOTO/日本経済新聞社
後援: ドイツ連邦共和国大使館
協賛: 富士通株式会社
協力: 株式会社ソニー・ミュージックレーベルズ
/株式会社キングインターナショナル

FUJITSU

shaping tomorrow with you

先取りされた未来を聴く——ヘンゲルブロックとハンブルクNDR交響楽団

ある組織を変えるということは難しい。ましてやそれが、比類ないほど高き過去の栄光の記憶を、人々に植えつけているのなら。そう、ハンブルク北ドイツ放送交響楽団という名門は確かに、3人のシェフの時代を経ても、特に日本の私たちにとって、偉大なギュンター・ヴァントの名前と切り離せない。

だが、もはやこのオーケストラが変化を受け容れ、力強く新たな未来に向かい進んでいることを、トーマス・ヘンゲルブロックの名と共に心に刻む時が来たようだ。フライブルク・バロック・オーケストラやバルタザール・ノイマン・アンサンブルを率いてきたこの鬼才は、奏法の移植でことを済ませるのではなく、豊かな古楽の地層で育んだ滋養を注入し、ぎっしりと中身の詰まった響きを失うことなく、俊敏かつ躍動的に、この名門に21世紀のダンスを踊らせる。

今回の来日でまず注目されるのは、東京・大阪公演における、ハンブルク稿を使用したマーラーの交響曲第1番。既発CDでの、阿鼻叫喚とは遠い精密さと疾走感が両立した演奏は、マーラーの真の青春の響きを体感させてくれた。それが実演で体験できる喜び。名古屋公演における、ベートーヴェンの交響曲第7番での、ピリオド／モダンの二項対立をとくに超えているであろう演奏への期待も高まる。気鋭のソリスト2人を迎えてのロマン派協奏曲2題も楽しみだ。

オーケストラの未来？ たぶんひとつの回答が、ここにある。

矢澤 孝樹(音楽評論)

ハンブルク北ドイツ放送交響楽団 NDR Sinfonieorchester Hamburg

トーマス・ヘンゲルブロック(指揮) Thomas Hengelbrock, Conductor

アラベラ・美歩・シュタインバッハー(ヴァイオリン) Arabella Steinbacher, Violin



1945年創立。初代首席指揮者H.S=イッセルシュテットの時代からフルトヴェングラー、クレンペラーらの巨匠が指揮、1970年からはヴァントが20年にわたって楽団を率い、黄金時代を築いた。ほかにもプロムシュテット、エッシェンバッハ、ドホナーニらが首席を務め、北ドイツ最高の、世界屈指のオーケストラとして音楽ファンに愛されている。2011年からは古楽の鬼才として知られたヘンゲルブロックがその任につき、世界を驚かせた。彼のもと、NDRは持ち前の重厚で強力な演奏に革新的な姿勢が加わり、両者の良好な関係は、観客にも批評家にも、そしてコンサートでもCDでも「新しく何かが始まる」というムードを、もたらししている。



2011年にハンブルク北ドイツ放送響(NDR)の首席指揮者に就任。それまでもフライブルク・バロック管の創設に関わり、ドイツ・カンマーフィルの芸術監督、ウィーン・フォルクスオーパーの音楽監督を歴任、バルタザール=ノイマン・アンサンブルの設立など、古楽に力を入れてきたことはもとより、オペラから現代音楽の指揮、演出まで自由に行き来し、融合させるアーティストである。NDRに新風を吹き込み、彼らとの2012年の来日公演、またシューマンの交響曲第4番(初稿)やマーラー「巨人」(1873年ハンブルク稿)のCDは話題を呼んだ。



ミュンヘンで名教師チュマチェンコに師事。2004年、パリで急病のチョン・キョンファの代役を務めて成功したことが注目され、以来、C.デヴィス、シャイー、プロムシュテット、パッパーノらの指揮でロンドン響、パリ管、シカゴ響、ゲヴァントハウス管などと共演している。CDも数多く、国際的な受賞も多い。使用楽器は、日本音楽財団貸与の1716年製ストラディヴァリウス「ブース」。

『叙情と情熱のバランスのよさ——彼女の長所は、とりわけ磨き抜かれたテクニクと美しく多彩な音色にある』(ニューヨーク・タイムズ)



夢のある、
夢を描こう。

FUJITSU

私たち富士通は、
豊かで夢のある未来を
あなたと一緒に、
かたちにしていきます。

shaping tomorrow with you

夢をかたちに

チケットのお申込み

カジモト・イープラス

<http://kajimotoeplus.com/>

カジモト・イープラス 0570-06-9960

※音声自動応答で承りますが、オペレーター(10:00~18:00)もご利用いただけます。
ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。
0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない
場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード: 250-166)
e+(イープラス) <http://eplus.jp/ndr/>
CNプレイガイド 0570-08-9990
ローソンチケット 0570-000-407
サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

twitter @kajimoto_News
facebook
tumblr
YouTube YouTube

“kajimotomusic” で検索!

便利なケータイサイトもぜひご利用ください。
iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ 対応
チケットもご購入いただけます。

カジモト・イープラス



一般発売: 1/25(日) 10:00~

●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。
●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。
●団体料金のある公演もございます。詳しくはお問合わせください。

KAJIMOTO 〒104-0061 東京都中央区銀座8-6-25 河北ビル TEL: 03-3574-0550 <http://www.kajimotomusic.com/>